

## ジェネックス今月のトピックス♪

### 太陽光パネル2040年、リサイクル推進へ

急速に普及した太陽光パネルが25年後には寿命を迎え、東京タワー200個分にあたる約80万トンが廃棄に回ると推計されています。この数字だけを見ると25年後が心配になりますが現在でも既に太陽光パネルのリサイクルを事業化している企業もあり、弊社で調査をした結果、25年後でも発電さえできる状態であれば買取が可能とのことでした。パネルには鉛、銅、銀、スズなどが含まれているため、廃棄物処理業者に対しては、埋め立てよりリサイクルの方がメリットが大きいようです。この件に関して、リサイクル業者から環境省への問い合わせも多いようで、今後の中古市場も踏まえて注目していければと考えております。



### 日照時間が長い都道府県ランキング(2013年)

ソーラー太陽光に向く日照時間が長い県がとどこかご存知でしょうか？日照時間によって発電量が大きく変化します。日本は小さな国ですが、雨が降りやすく曇りが多い地域、逆に雨が少なく晴天ばかりの地域があるので日照時間は必然的に変わってきます。いったい日照時間が長い県はどこでしょうか。

|    |     |          |
|----|-----|----------|
| 1位 | 山梨県 | 2461.5時間 |
| 2位 | 宮崎県 | 2410.5時間 |
| 3位 | 高知県 | 2372.9時間 |
| 4位 | 群馬県 | 2366.4時間 |
| 5位 | 三重県 | 2365.5時間 |
| 6位 | 愛知県 | 2355.3時間 |
| 7位 | 徳島県 | 2326.8時間 |
| 8位 | 岐阜県 | 2315.6時間 |



### 注目の記事

地球温暖化など環境負荷の大きな二酸化炭素を吸収しつつ、エネルギーを生み出し、さらに有害物質を排出しないというクリーンエネルギーの生成を実現する「人工光合成」という夢の様な技術が実は存在しており、2020年～2030年には現実のものとして実現する可能性があると言われていたものなのですが最近ではイギリスにて「天然」光合成を人工的に実現できる技術が開発されています。これは、「人工の葉」を実現する技術だそうで、絹素材に植物の葉緑体を定着させ光合成を行うとの事です。この「人工の葉」の名前は「Silk Leaf(シルクリーフ)」というそうです。下記に写真を添付しました。

1. CO2の吸収と酸素の発生 2. 低エネルギー消費 3. モジュールでの提供

これらの特徴から、シルクリーフはさまざまな環境や用途で利用することが可能だそうです。例えば、換気システムの中で利用したり、インテリアの表面であったり、ランプシェードなど照明と一緒に使ったりすることができさらに宇宙空間でも太陽光と水で酸素を生み出すことができるため、宇宙探査などでも利用できるとしています。上記のようなクリーンエネルギーは日々技術の進歩とともに出てきますので、是非皆様も興味を持っていただければ幸いです。



今日は九州で再生可能エネルギーに積極的に取り組んでいる、薩摩川内市について書こうと思います。薩摩川内市には、火力発電所(2基)と原子力発電所(2基)があり、これまで長い間、基幹エネルギーの供給地としての重要な役割を担っていました。新しいエネルギー政策に対応するため、次世代エネルギーにも積極的に取り組んでいます。薩摩川内市のHPには、次世代エネルギーウェブサイトに開設されています。エネルギー関連施設の一覧マップがあったり次世代エネルギーの分かりやすい解説があったり、見る人が分かりやすいようなサイトになっています。市全体で取り組まれていて、とても良いなと思います。気になる方は是非、HPを覗きに行ってみてください。

<http://jisedai-energy-satsumasendai.jp/>より



～社員研修旅行～ 福岡、北九州、長崎の旅  
初日に福岡県北九州エコパークセンターにて風力発電、国家石油備蓄基地を見学。夜は中州で自由行動。屋台で美味しいラーメンをいただきました。  
二日目は長崎観光で出島、軍艦島、亀山社中、大浦天主堂、グラバー園、めいっばい回り満喫できた旅になりました。  
←出島で記念撮影

※代金や賃借料の払い忘れにお気を付け下さい※

「ジェネックス通信」毎月1回発行 「いつでもお問い合わせください。」

株式会社ジェネックス 〒447-0871 愛知県碧南市向陽町4丁目79番地ウィルビル3F TEL:0566-91-4131 FAX:0566-91-4139